様式 4

令和３年度国際理解ワークショップ 進行シート

令和　３年　８月　５日作成

大 学 名：新潟大学

タイトル：守るべきは「誰の」くらしか

１：本ワークショップの要旨

私たちが普段身につけているものや食べているものは海外産も多い。輸出入に関わる問題は国家間の対立や親密さにも関わっている。日本は自給率が低く、食事も海外に依拠している。

私たちの暮らしを考えると海外製品を安く買えることは嬉しいことだが、安い海外製品の裏では様々な問題が起きている。また、同じ労働でも国により賃金の格差がある。この是正のために「フェアトレード」が注目され始め、また食料問題や飢餓をなくすべく日本が FAO や WFP という活動を支援していることを説明する。

２：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

・フェアトレードを知り、ものを購入するときに意識してもらうこと

→フェアトレード製品にはチョコレートを始めとし、スポーツボールや衣類などもある。受講した生徒がこれからものを購入する際に、フェアトレード製品が選択肢に入ってくることを目指す。

・世界の貧困の背景を知ってもらうこと

→中３、高１ぐらいだと世界に貧困があることは知っていても、その詳しい背景までは知らない生徒が多いのではないかと考えた。そこで、世界の貧困と私たちの安く色々なものが手に入る豊かな生活には関連があることを示し、遠い国で起こっているように感じられる貧困問題を「自分ごと化」して考えられるきっかけを作る。

・日本の海外依存の現実を知ってもらうこと

→身の回りのものは海外製のものが多く、海外からの供給がストップしたら日本国内だけでは基本的な生活も送ることができなくなるだろう。日本は先進国で他の国に頼らなくても自立できるという感覚を持っている生徒もいると思うので、具体的な数値での論拠などを挙げながら日本と海外の関わりを示し、グローバル化の中の日本という国を見てみたい。

３：本トピックをとりあげる理由

私たちはフェアトレード製品の中でも特に衣類に着眼してワークショップを始める。その理由は大きく２つある。１つ目は、日本の衣類は約 96%が海外製であり、大きく海外に頼っているからだ（そのうち 57%が中国製で、次に多いのがベトナム 14.3%、第３位がバングラデシュ 4.6%、）（日本貿易統計参照、2019)。２つ目は、アメリカがユニクロの輸入を禁止したというニュースが目を引くものであり、国際問題を考える上でとっかかりになりやすいと感じたからだ。アメリカはウイグル自治区で人権侵害が起こっているとし、ウイグル自治区の綿花を使用した衣類の輸入を禁止した。そのような点から、衣類に着目することで日本と海外の関係、ひいては国際問題について考えるきっかけになると考えた。

貧困について取り上げる理由は前述した通りである。

４：活動過程　　（使用時間：　90 分程度　　参加人数：　　）

過 程 （所要時間）	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反応、 その他注意事項
導 入　:起 （20 分）	簡単なテーマについての導入	わたしたちが普段食べているもの、着ているものがどこからきているのかを紹介する,（その日着ている服の紹介？）	私たちの身の回りのものの多くが海外のものであることを理解してもらう	（カメラ）	
	それに関する社会問題の説明	米が UNIQLO 製品の輸入を停止した事例から人権弾圧、国家間の対立などのやや難しい問題にも触れる	輸入品の中に、私たちの見えない問題が含まれていることを知ってもらう	スライド	UNIQLO の件に関しては、中国の人権弾圧が確定しているわけではないため、それを断定しないようにする 少し難しい内容のためなるべくわかりやすいように説明する
	問題提起:外国からの輸入製品は安く、私たちの生活にとっては嬉しいがその裏で問題が発生しているのではないか	安い外国製品の裏で様々な問題が生じていることを説明する	問題の定期によって普段我々が何気なく手にしている安い海外製品の裏にある問題について考えるきっかけを作る	スライド	
展 開　:承 （20 分）	グループワーク	「どうして海外製品が安く買えると思いますか」という問いにグループ	実際に生徒たちに考えてもらい、問いについて主体的		正誤に関わらず生徒たちから出た意見は尊重する、予想外の意見が出ても

		で考えてもらう	に考えてもらう		焦らない
	発表	上で出た意見を班ごとにいくつか発表してもらう			
	休憩				
発　展　：転（30 分）	問題①:国内の農家，生産者たち	安い海外製品によって生産品が売れなくなるなど、困っている国内の農家がいることを説明する	一番身近な国内農家，生産者たちの現状を知ってもらう	スライド	なるべくデータをグラフ化したりして説明する
	問題②:外国の低賃金で働かされている労働者	低賃金で働かされている労働者たちが多くいること、その中には 5～17 歳の子どもたちも多くいることを説明する（海外のカカオ農家）	安い海外製品の裏に低賃金での労働を余儀なくされている人がいること、そこには同世代の子どもたちがいることを理解してもらう	スライド	ここもデータメインで説明する
	問題③:環境問題	安い製品を作り出す裏でその国の環境が脅かされている事例を伝える（ビクトリア湖，ナイルパーチ）『ダーウィンの悪夢』	輸入品の裏で人だけでなく環境にまで問題が広がっていることを説明する	スライド	ここは具体例中心で
まとめ　：結（20 分）	改善のための取り組み	これらの問題のために起こっている様々な改善法について説明する	問題是正のために国内外で様々な取り組みがなされて	スライド（写真）	説明はわかりやすく，かつ丁寧になるべく多くフェアトレードの製品

		（WFO,WFP,人権デューデリジェンスなど） その中でも特にフェアトレードは重点的に説明する（商品の写真を用いる、など）	いることを知ってもらう 私たちが普段安価で買っている安い製品の裏でどのようなことが起こりそして私たちには何ができるかを考えてもらう		を探す
	まとめ グループワーク （時間があれば） 発表	今回の授業をまとめる 今日学んだことやこれからの生活で考えたいことをグループワークで話し合ってもらう，時間があればいくつか発表してもらう	今日の学びをグループで共有し、これからの生活に役立ててもらう		

５：新型コロナウィルス感染症拡大防止のための工夫や留意点

オンライン形式によるワークショップの実施

６：会場のセッティング（対面の場合のみ）

７：使用する教材

８：参考にした資料